

# 令和5年度（2023年度）第2回 熊本市自転車利用推進協議会 議事録

I. 日時：令和6年（2024年）3月27日（水） 午前10時～

II. 場所：桜の馬場 城彩苑 多目的交流施設

III. 配布資料

- ・次第
- ・委員名簿
- ・配席図
- ・資料1 サイクル&ライドの推進について
- ・資料2 自転車走行空間について
- ・資料3 市営駐輪場の機能強化について
- ・資料4 自転車の安全利用について
- ・資料5 熊本市自転車活用推進計画の中間見直しについて

IV. 議事要旨

1. 開会 事務局挨拶	
2. 委員紹介	
3. 議題 (1) サイクル&ライドの推進について	
事務局	資料1に基づいて説明
(2) 自転車走行空間について	
事務局	資料2に基づいて説明
(1)、(2) について質疑応答	
会長	議題(1)、(2)について、何かご意見ご質問等はあるか。
委員	サイクル&ライドの推進のシェアサイクルにおいて、ヘルメット着用はどのように考えているか。
事務局	シェアサイクルのヘルメットについては、ご承知のとおりヘルメットは着用努力義務化となっている。シェアサイクルに限らず、自転車に乗る際はヘルメットを被るように取り組みを進めている。シェアサイクルに関して申し上げますと、同じように啓発もしており、アプリや各ポートの看板にて啓発を行っている。ただ、一方でヘルメットを自転

	<p>車に備え付けができないかやポートに設置できないか等の話しもあり、研究をしているところではあるが、安全面や衛生面等様々な課題があり、全国的な課題でもあるため、行政側またシェアサイクルの事業者から一体となって課題解決に向けて勉強しているところであり、なかなか着用率があがっていないが、安全にご利用いただけるよう様々な取組を進めてまいりたいと考えている。</p>
会長	<p>ヘルメットについては、重要な課題であるため、後ほど議題でしっかりとご議論いただきたい。他に意見はあるか。</p>
委員	<p>資料 2 の 2 ページの白川チャりんぽみちの進捗状況について情報共有をする。右岸側の代継橋、長六橋間では木が鬱蒼と茂っており、管理しづらいという状況もあったため、河川側に通路を作る工事をしている。あわせてチャりんぽみちの工事にも取り組んでおり、早ければ令和 7 年度には完成するという目標で進めている。</p>
事務局	<p>今おっしゃった話については、承知している。現状国道 3 号の方の歩道を使わせていただいているが、河川改修が終わり次第河川側に通して、すべて河川側を通して白川橋から小碓橋まで行けるように通していきたいと考えているため、引き続き安全対策については調整をさせていただきます。</p>
委員	<p>気づいた点と質問を含めて 3 点。  1 点目は、チャリチャリについて、最近利用をしてみたが、携帯を持っていない子供と利用をしたいとなった時に、一緒に利用することができなかった。現在の仕組みでは利用できない場合には、できるような仕組みを作っていただきたい。  2 点目は、駅周辺の駐輪スペースの協議が進んできたため、今後はバス停の方に移行していきたいということであったが、駅には駅舎があり、駐輪場から離れて距離があるため駅前に駐輪場の改修をする等理解はしやすいが、バス停付近となると狭い歩道にバス停の案内があるだけで、すべてのバス停付近に駐輪場があるというのはイメージが湧きづらいが、どのように考えているか。</p>

事務局	<p>3点目は、資料2の自転車走行空間について、歩道が狭く、建物と電信柱に囲まれている箇所は通れないため車道を走るが、車道も狭く、走行時にかなりの不安があるため、そういった整備がされていくのは重要である。ただ道路にラインを引くだけでなく、歩道に乗り上げる際に段差があることで滑ってしまうことがあるため、歩道と車道の間の段差の整備もあわせて考えたい。</p> <p>まず1点目について、ご意見のように、1端末で1台という形になっており、現状は1つのスマホもしくは、タブレットで1台しかご利用いただけない状況である。複数人が1つの端末でできないかという意見もいただいているが、システム的な問題もあるため、今後事業者とできる限り検討したい。</p> <p>2点目のバスの停留所付近のサイクル&amp;ライドということで、現状ご説明した通り、鉄軌道や電停の周辺も含めてその周辺の駐輪場は整備がほとんど終わっているが、バス停周辺がない状況である。ただバス停にはかなり狭い歩道という状況もある。今回考えているのは、バス停1か所に集約するというのではなく、バス路線の中で、ある程度駐輪スペースを設けられそうな場所にいくつかサイクル&amp;ライド駐輪場を点在させ、そこに自転車で来て公共交通に乗り換えていただくことを考えている。資料にもあるとおり、小峯営業所、長嶺小学校前、長嶺団地と書いているが、この辺りを候補の一つとしているところである。3つ目の自転車走行空間について、道路交通法でいくと、自転車は車両であり、車道の通行が原則ではあるが、様々な整備形態で自転車の走行空間を整備しているところである。ただ、車道混在が、圧倒的に整備延長も長くなっているが、今の道路空間を再配分しながら走行空間を設けるというのがあるため、広い専用スペースが安全ではあるが、空間の確保が難しいというのが現状である。ただ一方では、車との交錯で危ないといったことも懸念されるため、今年度整備したように、路肩の中に専用通行帯に近いように車と分離したような空間で設けるなど、また、乗入の際にも安全になるような形でこれからも検討をしていきたいと考えている。</p>
会長	<p>走行環境について、道路にはどうしても排水のために側溝があり、そ</p>

	<p>こを自転車で通るのは怖いところがあるが、省スペース構造というのがあり排水を少しの幅だけにするようなデザインがあったりなど、その空間を自転車が走っても問題ないというようなものもあるため、そういったものも活用していくと良いかもしれない。</p> <p>まだご意見があると思うが、本日は議題が5件あるため、先に進めさせていただく。質問があれば後ほど聞きたいと思う。</p>
<b>(3) 市営駐輪場の機能強化について</b>	
事務局	資料3に基づいて説明
<b>(4) 自転車の安全利用について</b>	
事務局	資料4に基づいて説明
<b>(3)、(4) についての質疑応答</b>	
会長	議題(3)、(4)について、ご意見ご質問等はあるか。
委員	<p>安全利用の冊子について、PDFの形式にするということだが、熊本市で子どもたちに一斉に知らせる冊子とロイロノートというシステムを小中学校では使っている。ロイロノートの先生フォルダというところに教育委員会と連携してJPEGにするとロイロノートで一斉配信することが可能になる。そうすることで先生たちもすぐアクセスすることができる。もちろん紙での効果もあるので、両方を活用できると良いと思う。</p> <p>もう一点、ヘルメットについて再来年度より高校生のヘルメット着用義務化になると思うが、熊本工業高校が率先して、来年度から義務化にしたことで他の高校もするといった声が高校生議会で出たのは、良い取組になっていたと思う。</p>
事務局	教育委員会とも話をしており、タブレット対応するようにしていたが、ロイロノートというのは聞いたことがなかった。学校と調整できるため、今後対応していきたい。
委員	<p>チラシの件で、私たちも自転車の点検で活用させていただきたいと思っているが、小学校にはすでに配付をしているのか。</p> <p>また、小冊子の最後の点検のポイントというところが最も重要であると考えており、整備不良の自転車が多いため、小冊子で点検を呼びか</p>

	<p>けることができると良いと思う。</p>
事務局	<p>新年度に学校から生徒全員に配布されると思う。</p>
委員	<p>また、自転車走行空間についても1点よろしいか。</p> <p>ある歩道では、歩行者と自転車どちらも通行できる箇所があると思うが、時々タイルのようなものが貼ってある道路が、雨の日にかなり滑るため、そのようなところの整備も考えていただければと思う。</p>
事務局	<p>そのような状況は重々把握をしている。現状の道路では、まだそのような道路が残っており、対応していく必要がある。そのような中でも、材料も進化してきている。また、会長からもあったように車道側の側溝や排水施設についても通りやすいような形の製品も出てきているため、整備の際には通行性も考慮してまいりたい。</p>
会長	<p>空間の確保も大事であるが、質を高めていくことも非常に大事であるので、ぜひ、そのように進めていただければと思う。他に何か意見はあるか。</p>
委員	<p>必由館高校がモデル校になっているが、ヘルメットを被っている生徒は30人程度である。本校では学期ごとに地域の自転車協会の方やさまざまな方に話をさせていただいて、安全性等の啓発活動を行っている。</p> <p>ヘルメット着用に関して、校則を決めるときも保護者や生徒と一緒に協議をすることとなっているが、高校生からは「ヘルメットの着用義務化はしてほしくない」という要望が出ている。現状としては保護者からもそのような意見が出ている。</p> <p>また、公立高校、県立高校、私立高校と一緒に生徒指導の会議をしており、義務化したことで義務化になっていない高校に進学する可能性が女子生徒に表れやすくなるのではと考えている。そのため、条例で一斉に義務化にする方が良いのではないかという意見が出ている。安全性という観点では、必要であることは生徒も理解しているが、実際にヘルメットを置く場所がない等の収容する場所の課題が出て</p>

事務局	<p>くる。また、義務化した場合には、先生が様々なところに立たなければならなくなる。ただ、国としては先生がすることではなく、地域に戻しなさいと言っている。しかし、警察からは学校でお願いしませうと言うように、ヘルメット着用を義務化した際に誰が指導をしていくのかということが働き方改革と逆行していることではないかということをも市生連で議論している。</p> <p>熊本魅力推進生徒会では、いろんな提言を市長にしている。そのような中で生徒たちは、一般の人たちも含めてヘルメット着用キャンペーンをするべきではないかと話し合いをしているところである。</p> <p>ヘルメットの着用についてのご意見と現状について、報道でも話題を呼んでいるところではある。本市としては、自転車を利用される方々の命と安全を守る上で、ヘルメットを皆様に被っていただきたいというところの推進を進めている。通学の生徒に限らず、一般の方々、また通学以外の遊び等の学生も同様である。一方それが進んできたかという話をすぐ数字で評価しないと着用率がどうなのかという議論が先行して、日ごろから8%程度で横ばいだという話がすぐ先行しているが、着用率というよりもそこに向かって議論が進む、もしくは、話がなかったところに会話が生まれるというなかで、少しでもヘルメットを被って自転車に乗った方が良いということを自主的に進めていただけるということに向かって努力をしていくことが本市の立場であると考えている。そういった中、学校では、取組の方針が出されたため、そこについてのサポートもしていきたい。</p>
委員	<p>学校側の負担があるという意見をいただいている。県の方で着用努力義務化され、子供だけでなく、大人も被る必要があり、4月に春の交通安全運動があるため、そのようなキャンペーンを通学時間帯だけでなく、隔週行い、取締や注意指導も行う。特に子供に関しては、将来の種まきと思って、強く高校生や子供には交通ルールの遵守を促していきたい。</p>
会長	<p>命を守るために必要というのはおっしゃる通りで、ただそれを運用していくためにはやはり、学校の現状としては課題があるということ</p>

	<p>で、それを今後熊本市の担当者がサポートできる体制を考えていかなければならないところである。</p> <p>もう 1 点議題が残っているため、一旦そちらに進めさせていただきたい。</p>
<p><b>(5) 熊本市自転車活用推進計画の中間見直しについて</b></p>	
事務局	資料 5 に基づいて説明
委員	<p>2 点意見がある。1 点目は資料 3、4 について、配付予定のチラシ等で先程ロイロノートと紙の両方を使うと良いという意見があったが、逆にこういう部分だけは紙を使うと良いと思ったのが、紙資料の場合は届くが、ロイロノートの情報は一切親には行き届かない。そういう意味では、紙資料を渡して持って帰っていただく。その紙資料の開いて左端の方に自分の地域に沿った危険な道路等の具体例を出すことで親子で話をする機会が生まれるのではないかと。</p> <p>2 点目は、ヘルメットに関して、高校の話が中心に出てきて、子供向けの啓発がメインであると思うが、いざ子供からなぜ大人は被らないのかといったことを言われた際に本当にその通りだなとは思っているものの、やはりヘルメットを被る大人は現状少ないと思う。子供からすると、大人がしていないのに、ヘルメットを被るように言われても、「ならなぜ大人はしていないのか」ということになるので、子供に啓発するとともに大人にも同時に啓発をしていくべきではないだろうか。</p>
事務局	<p>1 点目に関して、自転車教室があった際には、チラシを持っていきたいと考えている。また、紙資料の要望があればまとめてお渡ししたいとも考えている。</p> <p>2 点目の大人への啓発ということに関しては、おっしゃる通りで、頭を悩ませているところではあるが、考えていることとしては、自転車通勤推進企業の際に説明したが、親が被らずして、子供は被らない。逆に子供が被れば親も被るというように、そういった関係性が広がっていければと考えている。個別に啓発・キャンペーンをすることは難しいため、集中的に推進企業と連携していきたいと考えている。</p>
会長	そろそろ時間が来ているが、他に何か意見はあるか。

委員	<p>確かに大人が変わらない限りは、子供も変わることは難しいため、その雰囲気が流行っていくと良いと考える。</p> <p>1点だけ、自転車の利用推進が本市の交通課題の解消へ向かっていく目標の一つではあると思うが、チャリチャリが好調をキープしているなどこれから少しずつ良くなっていくと思うが、自転車利用推進ができてきている中で、交通課題の解消が進んでいるという数値的なものがあればご紹介いただきたい。</p>
事務局	<p>冒頭、部長からの挨拶もあった通り、熊本は渋滞が政令市ワースト1ということでそれに向けて、公共交通の利用促進や、道路などさまざま行っているところである。道路整備は時間がかかるが、今シェアサイクルをはじめ、自転車の利用がどんどん上がってきている。車の総量からすると自転車の総量は少ないため、大きくは変わっていないが、例を1つ挙げると、シェアサイクル利用者を対象としたアンケート調査の結果から、シェアサイクルを利用されている方の2割が車からの転換であり、そういう方も出始めている。最初に申し上げたサイクル&amp;ライドというのが、自宅周辺から近くのバス停と電停まで、そこまで自分の自転車で来ていただいて、公共交通に乗り換えて、また、最終的に目的地まではシェアサイクルなど、そういった移動の選択肢が増えることで、車を使わなくても自由に行ける環境が整ってくると公共交通の利用促進、さらには、渋滞解消につながっていくかどうかというところで、様々な交通対策があるが、連携しながら取り組んでいきたいと考えている。</p>
委員	<p>免許更新のところで、ヘルメットが大事であるという啓発があると皆さん見られるのではないかとという提案をする。</p>
会長	<p>時間の都合上、ここで終了とさせていただくが、いただいたご意見のように、こうすると良いのではないかとといったことがあれば、ご遠慮なく事務局にご連絡いただければと思う。</p>
<p><b>5. 閉会</b></p>	